令和5年第2回潟上市議会臨時会会議録

○開 会 令和5年 8月22日 午前10:00

○閉 会 午前11:09

○出席議員（18名）

1番 菅 原 理恵子	2番 鈴 木 壮 二	3番 藤 原 仁 美
4番 戸 田 俊 樹	5番 佐 藤 義 久	6番 澤 井 昭二郎
7番 堀 井 克 見	8番 藤 原 典 男	9番 中 川 光 博
10番 鈴 木 司	11番 菅 原 秀 雄	12番 石 井 和 人
13番 西 村 武	14番 鏡 仁 志	15番 菅 原 龍太郎
16番 伊 勢 潤	17番 佐 藤 敏 雄	18番 小 林 悟

○欠席議員（なし）

○説明のための出席者

市 長 鈴 木 雄 大	副 市 長 鎌 田 雅 人
教 育 長 工 藤 素 子	総 務 部 長 千 葉 秀 樹
市民生活部長 菅 生 司	福祉保健部長兼福祉事務所長 櫻 庭 仁
産業振興部長 小 野 貴 宏	建 設 部 長 畠 山 修
教 育 部 長 佐々木 涉	総 務 課 長 古 仲 淳
危機管理監 櫻 庭 満 久	企画政策課長 安 田 秀 樹
財 政 課 長 伊 藤 強	農林水産振興課長 伊 藤 充
都市建設課長 菅 原 撰	教育総務課長 齊 藤 栄 子

○議会事務局職員出席者

議会事務局長 宮 崎 久 春	議会事務局次長 澁 谷 睦 子
----------------	-----------------

令和5年第2回潟上市議会臨時会日程表（第1号）

令和5年8月22日（1日目）午前10時00分開会

会議並びに議事日程

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 行政報告（市長）

日程第 4 承認第 6号 専決処分の承認について（令和5年度潟上市一般会計補正
予算（第4号）を定めること）

日程第 5 議案第48号 令和5年度潟上市一般会計補正予算（第5号）（案）につ
いて

午前10時00分 開会

○議長（小林 悟） おはようございます。

傍聴者の皆様、朝早くからご苦勞様でございます。

ただいまの出席議員は18名であります。

定足数に達しておりますので、これから令和5年第2回潟上市議会臨時会を開会します。

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりです。

【日程第1、会議録署名議員の指名】

○議長（小林 悟） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第80条の規定により、7番堀井克見議員、8番藤原典男議員を指名します。

【日程第2、会期の決定】

○議長（小林 悟） 日程第2、会期の決定を議題とします。

議会運営委員長の報告を求めます。7番堀井議会運営委員長。

○議会運営委員長（堀井克見） 皆さん、おはようございます。

私から議会運営委員会の報告をさせていただきます。

議会運営委員会は、8月18日、委員、正副議長、当局から説明員として副市長及び総務部長の出席のもとに開催しております。

議会運営委員会では、本臨時会の提出予定議案、会期日程等を議題として協議をいたしました。

本臨時会に当局より提出される案件は、承認案件1件、予算議案1件であります。

提出案件については、当局より概要説明を受け協議した結果、本臨時会の会期を本日1日と決定をいたしました。

以上申し上げまして、議会運営委員会の報告とさせていただきます。

終わります。

○議長（小林 悟） お諮りします。本臨時会の会期は、ただいまの議会運営委員長報告のとおり、本日1日としたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（小林 悟） 異議なしと認めます。したがって、会期は本日1日と決定しました。

【日程第3、行政報告（市長）】

○議長（小林 悟） 日程第3、鈴木市長より行政報告の申し出がありますので、これを許します。鈴木市長。

○市長（鈴木雄大） おはようございます。

本日ここに、令和5年第2回臨時会を招集いたしましたところ、議員各位には、ご出席を賜り誠にありがとうございます。

はじめに、7月14日からの大雨災害に関する概況と本市の対応について申し上げます。

7月14日から15日にかけて、県内では活発な梅雨前線と暖かく湿った空気が流れ込んだ影響により、未曾有の大雨に見舞われました。本市を含む県中央部では、河川の増水による内水氾濫等によって床上・床下浸水などの被害が発生いたしました。

本市では、15日の午前4時14分に大雨警報が発表されたことから、直ちに「災害警戒室」を設置し、災害対応職員による情報収集等に努めるとともに、関係機関との連携により、積み土のう工による浸水予防やポンプによる排水作業、通行制限措置等の対応にあたり、午前8時には災害対応職員を増員し、体制を「災害警戒部」に格上げいたしました。

その後も停滞した梅雨前線の影響により発表された暴風警報や洪水警報に加え、午前8時45分には土砂災害警戒情報が発表されたことから、土砂災害の危険性があつた豊川地区、飯田川地区、追分西地区を対象に警戒レベル4に当たる「避難指示」を発令いたしました。

その後、床上浸水等の被害を確認したことから、午後4時に体制を「災害警戒本部」に引き上げるとともに、本部会議を開催し、災害対応方針の共有を図りました。

また、市街地においては2か所で大規模な道路冠水が発生したことから、排水ポンプや地元消防団ポンプのほか、国土交通省へ依頼し配備されたポンプ設備による排水作業を行っております。

翌16日以降には、災害対応職員による巡回パトロールを含め、被害状況の把握に努め、特に被害の大きかつた飯田川下虻川地区、昭和川向、中町地区等では、浸水した家屋を中心に消毒剤の提供、災害ごみの回収・処理などを実施しております。

また、市内5か所で開設した避難所には、15日から17日までの3日間、延べ47名の方が避難されました。

このたびの大雨により、多くの方々が被災されたものの、幸いにも人的被害にまで及

ばなかったことに関しましては、ひとえに関係機関、市消防団、自主防災組織や自治会等多くの方々のご協力があったからこそであり、改めて感謝を申し上げる次第であります。

次に、主な被害状況について申し上げます。

住家では、床上浸水6件、床下浸水40件の被害が確認されたほか、非住家の浸水被害は22件確認されており、床上浸水の被害に遭われた方々に対し、直ちに見舞金を支給いたしました。

農林業用施設では、昭和・飯田川地区において農地等への土砂流入や農道・林道の法面崩落、土砂崩れなどが多数確認されており、現在のところ被害額は概算で1,500万円と把握しておりますが、今後さらに拡大するものと見込んでおります。

また、農作物被害については、水稻のほか、大豆やネギ、枝豆など、約1,122ヘクタールの農地が冠水し、概算で2億1,300万円の被害額となっております。

道路・河川においては、市道一向・沖田線沿いの天王水路の護岸が増水により部分的に破損しております。

これら被害の復旧に関して、早期に対応が必要な予算については、8月4日付で専決処分するとともに、災害復旧費と予備費の充用により対応しております。

次に、近隣自治体への災害支援等について申し上げます。

秋田市や男鹿市、五城目町では、床上浸水や断水が大規模に発生いたしました。本市では、市民への支援に加え、近隣自治体の被災者支援として、入浴施設の無料開放を行っており、7月20日から31日までの12日間で、「天王温泉くらら」では延べ1,963人、「プラザの湯」では延べ258人の利用がありました。

災害派遣については、家屋被害認定調査支援として本市職員延べ15名を秋田市と五城目町へ派遣しており、今後も更なる派遣を予定しているほか、災害ごみの収集運搬支援として、8月3日から10日までの8日間、作業員と車両3台を秋田市に派遣しております。

こうした状況において、本市が2011年の東日本大震災時に復興支援を行った岩手県宮古市からお見舞金を頂戴したほか、応援協定を締結している自治体からもお見舞いのメッセージをいただいております、改めて深く感謝の意を表します。

最後に、このたびの大雨により被災されました市民の皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、今後とも市民の生命と財産を守るため、災害に強く、安全で安心な

潟上市を目指し、職員一同全力で取り組んでまいり所存でありますので、議員各位におかれましては、更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上が、大雨に関する被害と対応状況のご報告であります。

なお、関係予算案の概要等については、このあと担当部長より説明いたしますので、適切なるご決定を賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

○議長（小林 悟） これで行政報告を終わります。

【日程第4、承認第6号 専決処分の承認について（令和5年度潟上市一般会計補正予算（第4号）を定めること】

○議長（小林 悟） 次に、日程第4、承認第6号、専決処分の承認について（令和5年度潟上市一般会計補正予算（第4号）を定めること）を議題とします。

承認第6号について当局より提案理由の説明を求めます。千葉総務部長。

○総務部長（千葉秀樹） それでは、本日配付いたしましたピンク色の表紙の説明資料の1ページをお願いいたします。

本予算は、令和5年度潟上市一般会計補正予算第4号を地方自治法第179条第1項の規定に基づき、令和5年8月4日に専決処分したものでございます。

初めに、「1 予算規模」でございます。

令和5年度潟上市一般会計補正予算第4号の補正予算額の総額は3,047万2,000円でございます。財源内訳は、全額が一般財源で繰越金でございます。

次に「2 補正予算の内容」でございます。

7月14日からの大雨により被災した農林水産施設や公共土木施設のうち、緊急性の高いものについて復旧に係る経費を計上したものでございます。

11款2項1目災害復旧費（農林水産振興課分）の（1）農業用施設・農地災害復旧事業564万3,000円は、大雨の影響により、土砂崩れで水路や農地に土砂が流入し、農作業に支障を来しているため、早期に復旧するものでございます。

3ページをお願いいたします。

被災箇所を位置図でお示ししてございますが、農業用施設が金山地区と船橋地区、越安地区の3か所、農地が樽沢地区と大工沢地区の2か所で、事業内容は土砂撤去及び法面復旧でございます。

2ページへお戻り願います。

(2) 林道災害復旧事業249万9,000円は、大雨の影響により、土砂崩れで林道に土砂が流入し、通行に支障を来たしているため、早期に復旧するものでございます。

3 ページをお願いいたします。

被災箇所は、林道大沢線、林道船橋線、林道新所線の3か所で、事業内容は土砂撤去及び法面復旧でございます。

4 ページをお願いいたします。

11款2項2目災害復旧費(都市建設課分)の(3)天王水路災害復旧事業2,233万円は、大雨の影響により、準用河川である天王水路の護岸が被災したため、現場の保全と本復旧に向けた調査設計等を行うものでございます。

5 ページをお願いいたします。

被災箇所を位置図でお示ししておりますが、第1工区が天王字コアツコ84-1付近、2工区が天王字小分678付近の2か所でございます。

また4ページへお戻り願います。

事業の内訳は、災害復旧調査設計が1,675万3,000円、設計書作成が194万7,000円、現場保全が363万円でございます。

以上でございます。

○議長(小林 悟) これから質疑を行います。質疑ありませんか。8番藤原典男議員。

○8番(藤原典男) 今、説明受けましたけれども、農地と、それから林道、道路が主なようですけれども、ため池の決壊というのはなかったですか。何か私聞いた話なんですが、羽白目の方では、奥の方のため池が決壊したという話もありますけれども、違いますか。

○議長(小林 悟) 千葉総務部長。

○総務部長(千葉秀樹) ただいまのご質問にお答えいたします。

現在調査している段階の被害箇所では把握はしてございません。

以上でございます。

○議長(小林 悟) よろしいですか。ほかに質疑ございませんか。4番戸田俊樹議員。

○4番(戸田俊樹) この補正の専決の設計の2,233万円の中の5ページの図を見ると、私ども7月の大雨以降、毎日のように8月10日頃まで草刈りをしております。これは農地多面の国の事業なんですけれども、この写真は、もうずっと前からこういう状態であったんです。今はじまって、この雨でこのようになったものではないと私は草刈り、

毎日のように行ってますのでわかるわけで、これをこの大雨のために流れるということは、この堤防ではあり得ない話ですので、こういう状態だから修理をしたいという、それはそれで理解できますけれども、この大雨による被害ではないと私は思っていますので、一応お話だけしておきます。

以上。

○議長（小林 悟） ほかに質疑ございませんか。5番佐藤義久議員。

○5番（佐藤義久） この専決処分について異論はないですが、飯田川の常習水害氾濫地域、虻川の城ノ後、それから、妹川の三浦商店の近く、上の方ですが、そういうところは予算化して改善・改修する考えはないんですか。雨降るたびに上がるんですよ。それから、昭和地区の、市長報告にありました床上浸水した家、それから山神南団地の手前、これは常習でしょう。一雨降れば水害起きていますよ。水路の改修とかする考えはないんですか。

○議長（小林 悟） 千葉総務部長。

○総務部長（千葉秀樹） ただいまのご質問にお答えいたします。

ただいま佐藤議員からご指摘あった箇所につきましては、今回の災害でも現場を確認し、状況を把握しております。

今後の対策につきましては、それぞれ調査をいたしまして、予算も多額にかかること等もございますし、市で管理している施設でない部分もありますので、そういったところを精査しながら、今後、対応を検討してまいりたいと考えております。

○議長（小林 悟） 5番佐藤義久議員。

○5番（佐藤義久） 今、私が言ったところの市が管理していない場所というのはどこ。みんな住宅地内だよ。

○議長（小林 悟） 千葉総務部長。

○総務部長（千葉秀樹） ただいまのご質問にお答えいたします。

市が管理していない場所と私ちょっと申し上げましたが、ちょっと詳細にどの部分というのが言えませんので、災害が起きたところにそういった箇所があるということでご理解をいただきたいと思います。

○議長（小林 悟） 5番佐藤義久議員。

○5番（佐藤義久） 今、1か月なるや。あなた方が水害の報告というか、検証というか、やったって聞いてから、7月20何日に会議開いているでしょう。これから精査してなん

ていうのは、遅すぎないかな。また大雨、大雨って、幸いここ潟上市周辺は雨が降ってないからいいけども、再びやってくることはあるんじゃないですか。答弁願います。

○議長（小林 悟） 千葉総務部長。

○総務部長（千葉秀樹） ただいまのご質問にお答えいたします。

佐藤議員ご指摘のとおり、また災害が起きる可能性がございます。ですので、早期に対応できるような形、どういう施工がいいのか、どういった対策がいいのか、その辺のところも今後検討してまいりたいと考えております。

○議長（小林 悟） 起立して質問してください。5番佐藤義久議員。

○5番（佐藤義久） 失礼しました。虻川の儘ノ内っていうところ、よく新興住宅街に近いというか、何軒か家建ってきております。あそこ2,200万もかけて水害ないという判断のもとでポンプ設置しましたけども、それ有効に活用になってないと思うんですが、その辺調査してますか。

○議長（小林 悟） 畠山建設部長。

○建設部長（畠山 修） ただいまのご質問にお答えいたします。

儘ノ内のポンプにつきましては、よく冠水するというので、こちらの方でポンプを設置したわけですが、やはり全ての冠水を防ぐということになりますと多大な費用がかかるということで、現在の規模のポンプを設置したということでございます。その設置した確立年度は、大体2年ぐらいのポンプということになっておりますので、なかなか今回のような大雨については対応しきれていないというのが現状でございます。

○議長（小林 悟） ほかに質疑ございませんか。11菅原秀雄議員。

○11番（菅原秀雄） 先ほど戸田議員も質問しましたが、この2,233万円という予算とられているところなんですけども、ここは今回の災害には関係ないんじゃないかということがありましたけれども、それはさておきまして、この作業をすることについては反対ではございません。この機会を利用して修理してくれることは非常にいいことだなとは思っていますが、ただ、やり方がうんぬんという、ちょっと引かかる部分もあるんじゃないかなと思いますので、ちょっと質問させていただきたいのですが、この河川というのは、どこの管理になっている、例えば土地改良区だとか、新城川土地改良区とか、こういう団体との絡みはどうなっているのか、それとも、全く単独の市の管轄の水路なのか、そこら辺ちょっと教えていただけませんか。

○議長（小林 悟） 畠山建設部長。

○建設部長（畠山 修） ただいまのご質問にお答えいたします。

今回被災した水路ですけれども、ここは天王水路ということで、準用河川の指定をしている部分でございますので、潟上市の管轄ということになります。昭和53年に指定しております。

以上です。

○議長（小林 悟） 11番菅原秀雄議員。

○11番（菅原秀雄） 今これはほかの団体ではないということで、単純に市の管轄だと、昭和何年に指定されているとの答弁でしたので、それはわかりました。

今回のこの2,233万円ですか、これの災害復旧調査設計料、これが1,600いくらか、トータルで2,233万円ですが、これ本体工事始まると、どれぐらいの経費になるというか、これ何パーセントぐらいの、工事費の何パーセントぐらいをこの設計料というか調査料、見ているのか、ここら辺は答弁願えないでしょうか。

○議長（小林 悟） 畠山建設部長。

○建設部長（畠山 修） ただいまのご質問にお答えいたします。

大体の復旧事業費ということでございますけれども、この復旧事業費につきましては、この詳細設計をやってみないとなかなか判断がつきづらいというところがございます。なぜかと申しますと、やはりここ軟弱地盤だということもありまして、まずはボーリング調査をした上で、それによって矢板の長さが決定したり、それによって調査した結果、根固め工が必要であったり、締切が必要であったりというような、詳細設計をした段階で大分費用が変わってきますので、現段階でいくら程度ということは、なかなか言いづらいということがございます。

次に、設計の積算についてですけれども、土木構造物の設計業務の積算につきましては、設計業務の歩掛かりというものが存在しておりまして、今回のような護岸工の設計でありますと、その歩掛かりの中で技士何人とかそういうものが決められておりまして、それに基づいてこの1,600万という単価を出しておりますので、工事費の何パーセントという形での積算、金額をはじいているというわけではございません。

以上です。

○議長（小林 悟） 11番菅原秀雄議員。

○11番（菅原秀雄） 最後、今、大ざっぱにわかりましたけれども、これ調査してみなければわからない、調査した結果、結果というか、これぐらいの設計料がかかりそうだ

という試算でしょうけれども、全く工事費のわからないままに、例えば10パーセントだとすれば1億6,000万、2億2,000万なるのかな、トータルでは。5パーセントであれば、この倍になるわけですよ。4億なるわけですよ。そこら辺の根拠も全くなしに、やってみなきゃわからないということで、これ見積ってもらわなければならないわけですが、昔は私の記憶によると、こういう設計料だとか調査費というのは、全体の何パーセントというのをある程度設定されていて、その中でお願いして積算してもらおうというのが、10年ぐらい前までは当たり前だったような気がするんですけど、今、全くそういうことって、今の答弁を聞きますと、なくなっている、やってみなきゃわからないという答弁にしか聞こえないんですが、こういうものが発生したら、毎回毎回こういう形であるとすれば、予算立てようがないというか、我々も想像、これ例えば2億円になるのか5,000万でできるのか、全くわからなくなるわけです。あくまでもこれ、設計料という、工事まだ始まってないので、それはそれでいいんですけど、ただ、それを今度は工事始まった場合に予算をその分取らなきゃいけないようになってくるという、ありますので、そこら辺の絡みもごさいますので、もうちょっと詰まった答弁ってできないものでしょうか。

○議長（小林 悟） 畠山建設部長。

○建設部長（畠山 修） ただいまのご質問にお答えいたします。

設計業務の積算につきましては、土木に関しては昔から歩掛かりがあって、それに基づいて積算しております。パーセントとかというものは、建築工事とかではあるかと思いますがけれども、少なくとも私が三十何年前に入った時には、もう設計の歩掛かりというものがございましたので、設計委託に関してはその歩掛かりを基に積算をしております。

全体の工事費の概要ということですが、それについては先ほど申しましたとおり、この今回の詳細設計をやることによって大分変わってくるわけですが、全くその工事費がわからないということではございませんで、ほかの似たような災害を受けたようなところの資料は取り寄せておまして、そういうものについては、場所によりますけれども1メートル当たり80万円かかっているところもあれば60万円ぐらいかかっているところもございまして。ですから、60万円ですと1億少々でしょうか、80万円ですと1億5,000万円ぐらいということになりますので、ある程度その金額は把握はしておりますけれども、やはり現場状況において大分変わってくるということですので、ここでその詳細のいくらぐらいというようなことは、なかなかお示しすることができな

いということでございます。

○議長（小林 悟） ほかに質疑ございませんか。9番中川光博議員。

○9番（中川光博） 1つだけお尋ねしたいと思うんですが、今回、施設関係の専決処分ということで今議論進んでいますけれども、先ほど市長報告にもありましたとおり、農産物の被害が2億1,300万円相当ということで、この農産物に対する支援については今後どういう考え方で進めていくのか、このあたりをお尋ねしたいと思います。

○議長（小林 悟） 小野産業振興部長。

○産業振興部長（小野貴宏） ただいまのご質問にお答えいたします。

現在、農作物の被害額につきましては、ほぼ把握できておりますが、実際の確定した金額というのは秋に実際に収穫してからとなります。

また、県におきましては、この9月議会において支援策を予算化するというのを伺っておりますので、そういった状況等々を勘案しながら、本市において必要に応じた支援策、そういったものを講じてまいる予定でございます。

○議長（小林 悟） よろしいですか。ほかに質疑ございませんか。16番伊勢 潤議員。

○16番（伊勢 潤） 災害復旧事業、これ全てに関わることになると思うんですけれども、国の農地農業用施設災害復旧事業と公共土木施設災害復旧事業に当てはまる事業になっていくという認識でよかったですでしょうか。

○議長（小林 悟） 小野産業振興部長。

○産業振興部長（小野貴宏） ただいまのご質問について、農業用施設に関して私からお答えいたします。

農業用施設につきましては、議員がおっしゃいました補助金等々の対象にはなりません。

○議長（小林 悟） 畠山建設部長。

○建設部長（畠山 修） ただいまのご質問にお答えいたします。

公共土木施設の災害復旧の事業に対しては、今回、国の災害査定を受けるべく、今回専決して作業を進めているということでございます。

○議長（小林 悟） 16番伊勢 潤議員。

○16番（伊勢 潤） 国のその査定を受けるべくして作業を進めているということでしたけれども、まず専決処分されたあとでいろいろ事務手続等が進められている中で、国からこういう負担金が下りてくる見込み、いつ頃どのように流れていくのかということ

ろをお知らせいただけますでしょうか。

○議長（小林 悟） 畠山建設部長。

○建設部長（畠山 修） ただいまのご質問にお答えいたします。

災害査定の日程につきましては、まだ詳細が決まっておりませんので、国からの方の連絡を待つということで現在、設計等を進めているということでございます。設計が完了して、査定完了後は、工事を発注するということになると思うんですけども、12月、冬工事ということもありますし、期間も伸びるということもあるので、そこら辺は来年度までまたがるのか、またがらないのか、そこら辺は設計と査定の状況によって変わってくるかと考えております。

○議長（小林 悟） ほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小林 悟） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから承認第6号を採決します。本案は原案のとおり承認することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（小林 悟） 起立全員です。したがって、承認第6号は原案のとおり承認することに決定しました。

【日程第5、議案第48号 令和5年度潟上市一般会計補正予算（第5号）（案）について】

○議長（小林 悟） 次に、日程第5、議案第48号、令和5年度潟上市一般会計補正予算（第5号）（案）についてを議題とします。

議案第48号について当局より提案の理由の説明を求めます。千葉総務部長。

○総務部長（千葉秀樹） それでは、説明資料の6ページをお開き願います。

令和5年度潟上市一般会計補正予算（第5号）（案）についてご説明いたします。

はじめに、「1 予算規模」は、補正前の額154億7,149万6,000円に補正額1,450万6,000円を追加し、補正後の額154億8,600万2,000円とするものでございます。

財源内訳は、全額が一般財源で繰越金でございます。

次に「2 補正予算の主な内容」でございます。

3款5項1目災害救助費の（1）市内入浴施設無料開放事業98万3,000円は、断水等で自宅において入浴できない被災者等の衛生対策のため、市内入浴施設を無料開放し、

その費用を施設に対し補填するものでございます。

対象施設は、天王温泉くららとプラザの湯の2施設で、対象者は、潟上市、秋田市、男鹿市及び南秋田郡において大雨により被災された方並びに災害ボランティアに従事した方でございます。

無料期間は令和5年7月21日から令和5年7月31日までで、期間中の利用者は2,221人でございます。

7ページをお願いいたします。

11款2項2目災害復旧費（都市建設課分）の（2）市道災害復旧事業128万7,000円は、大雨の影響により市道荒長根草生土線の一部に亀裂が入り、大きな段差が生じているため、早期に復旧するものでございます。

被災箇所は、8ページの位置図のとおり、昭和豊川槻木字真形沢23-1付近の1か所で、事業内容は舗装・補修工事でございます。

9ページをお願いいたします。

11款2項3目災害復旧費（総務課分）の（3）昭和こども園前広場外灯復旧事業900万円は、大雨による冠水で昭和こども園前広場の電気設備が故障し、外灯が使用できないため、早期に復旧するものでございます。

被災箇所は、10ページの位置図のとおり、昭和こども園前広場で、事業内容は既存の外灯が設置後25年以上経過し、老朽化が著しいことから、14基設置されている外灯のうちソーラー照明の外灯として6基を更新するものでございます。

説明は以上でございます。

○議長（小林 悟） これから質疑を行います。質疑ありませんか。14番 鑑 仁志議員。

○14番（鑑 仁志） 今の9ページですけれども、これは昭和こども園のところ、外灯900万円とあるんですけども、我々に通知来た時には1,200万円の設計、予算を書いていたんですけども、これどうして900万円になったのか、そこら辺のところ。確か14基のうち6基までということになってはいますけれども、どうして300万円も低くなったのか、そこら辺のところをちょっと説明していただきたいと思います。

○議長（小林 悟） 千葉総務部長。

○総務部長（千葉秀樹） ただいまのご質問にお答えいたします。

当初、告示日にお渡しした説明資料の方の金額は、まだ確定できませんでしたので、多少多めの金額を記載させていただきました。

このたび、説明資料にあるように、その金額、見積等が得られましたので、その金額としたものでございます。

14基のうちなぜ6基かというご質問かと思いますが、このLED外灯を設置する上で、かなり今の外灯よりも外灯の照度が良くなるということで、現在の基数を足りなくしても十分対応できると思っております。

以上でございます。

○議長（小林 悟） 14番 鑑 仁志議員。

○14番（鑑 仁志） それはわかりましたけども、これ、災害ですので、しかも昭和こども園ということであるので、これ工期はいつ頃からかかるのか、いつ頃が完成の予定なのか、ちょっと説明していただきたいと思っております。

○議長（小林 悟） 千葉総務部長。

○総務部長（千葉秀樹） ただいまのご質問にお答えいたします。

今回の予算が可決いただきますと直ちに発注いたしますが、その工期につきましては、物品の納期等の確認も必要ですので、いつまでということにははっきり言えませんが、既存の外灯、地下に埋まっている設備等を直すよりも、ソーラー外灯の方が早く工事ができると考えておりますので、その復旧についてもできるだけ早く復旧できるように工事の方を進めてまいりたいと考えております。

○議長（小林 悟） ほかに質疑ございませんか。5番 佐藤義久議員。

○5番（佐藤義久） 外灯、今、地下設備を直すよりはということでしたが、地下設備の何が悪いんでしょうか。

○議長（小林 悟） 千葉総務部長。

○総務部長（千葉秀樹） ただいまのご質問にお答えいたします。

今の外灯は、地下をその配線が通っております。そういった配線が今回の大雨の被害によって電気設備が故障していることがございます。その配線が年数も26年以上経過しているということでございましたので、この機会に配線でなくて、配線を取り除くのではなくて、新たにソーラー外灯を整備することで、早く工事ができるのではないかとこのことを判断いたしまして、ソーラー外灯を付けると計画をしたものでございます。

○議長（小林 悟） 5番 佐藤義久議員。

○5番（佐藤義久） ソーラーに変えるということですが、これはそうすると、既存のものを撤去する費用など含まれておりますか。

それから、地下ピットに分電盤あると思うんですが、その辺の修理、修繕、改善はどうなりますか。

○議長（小林 悟） 千葉総務部長。

○総務部長（千葉秀樹） ただいまのご質問にお答えいたします。

設置とその撤去費もこの予算に含まれてございます。

それから、地下ピットのことでございますが、今回、地下ピットが漏水したことによって、その地下ピットにある機器、基板が故障したということが一番の原因でございます。そういったことですので、その地下ピットについては使わない、もう使用しないで、ソーラー外灯それぞれ一つが単体で動くということになろうかと思えます。

以上でございます。

○議長（小林 悟） 5番佐藤義久議員。

○5番（佐藤義久） 説明はわかりましたが、そうすると、噴水の分電盤は生かしておくんですか。それと、まとめて聞きたいと思えます。それをもし使わないとすればどうするのか。それから、防水装置など、完全なものであるかどうか。まずそこまで。

○議長（小林 悟） 千葉総務部長。

○総務部長（千葉秀樹） ただいまのご質問についてお答えいたします。

噴水につきましては、以前から故障しておりまして、現在も使用していない状況にございます。今回の修繕で、噴水はもう使えないようにすると考えてございます。

それから、それぞれそういう設備については撤去もいたしますので、今後そういった防水に対する対応というのは、先ほど申しましたとおり、ソーラー外灯一つ一つが対応していきますので、そういった心配は今後なくなるということでございます。

○議長（小林 悟） ほかに質疑ございませんか。12番石井和人議員。

○12番（石井和人） 今、被災された設備等の予算計上していますけれども、この大雨の時期、天王の一部で一時的な断水、おそらく1時間程度かと思われそうですが、そういう断水が発生しましたが、大雨に関して浄水場とかそのような設備に被害はなかったのでしょうか。

○議長（小林 悟） まず、答えれば、答えてもいいんですけど、内容が違いますので。じゃあまず畠山建設部長。

○建設部長（畠山 修） ただいまのご質問にお答えいたします。

災害時に水道の断水があったということでございますけれども、この断水につきまして

ては、今回の大雨とは全く関係ないもので、タイミング的に同じ時期に発生したということでございます。申し訳ありません。

○議長（小林 悟） ほかに質疑ございませんか。7番堀井克見議員。

○7番（堀井克見） 同僚議員から広範にわたって意見があり、また、質問があり、私、全体的にちょっとお尋ねしたいんですが、今回、幸いにもというか、それなりの災害の被害を受けたんですが、大雨によって、潟上市は隣接する秋田市、男鹿市、五城目町と比べれば、まずは幸いの方だったのかなと、人的被害もなかったと市長の報告にもありました。それはよかったと思います。

しかしながら、世界規模な、地球規模な気象の変動によって、いつ何起きるかわからないと、専門家が毎日のように言っていますから、私感じたことは、今回2,200万の専決、あるいはまた今一千数百万の補正ということをやっていますけれども、そして7月20何日の日に対策会議開いたと。それはそれで、その時、雨降った時、市長は確かいなかったと思いますけれども、いだったのかな、本部長、誰がやって、どういう指示をされたのか、そういう災害対応に対するそういう対応というのは、そういう仕組みがどうなっているのかなということがちょっと心配なので、そこらをもう一回きちっとご説明いただきたいということ。

それから、今回のこの災害は、農業関係が何億ということで甚大な被害を受けたと。このあと、県だとか国の動向を見ながらということで、ちょっと今の今日の会議では全くわからないような状態の説明です。例えば、具体的に申し上げますけれども、災害後の、雨この間ちょっと降ったんですが、追分のナイスの前だとか、出戸だとか、ザッと降っただけで、もう車行き交えない状態発生していますよ。恐らく当局もこれ把握していると思うんです。これはもう、言ってみれば、今ここ一、二年の問題ではない、その時々、キャパ超えるか超えないかという、ポンプ設置したという話もあったけれども、やっぱり抜本的にこれからの時代にかね備えるためには、潟上市の災害対応、対策、危機管理、こういうものをきちっとやっぱりシミュレーションをもって備えておかないと、対応できない時代に入ったという認識ないんですか。これ全て対処療法みたいな感じで、今ちょっと手がければいいよと。はっきり言えば、真形のこの道路なんて、先ほど児玉の下の水路だって、同僚議員の意見もありましたけれども、大雨降る前から傷んでいましたよ、はっきり言って。よし、タイミングだと、いただけるものであればやりましょうか、そういう泥縄的な、ちょっと発言荒いかもしれませんが、そういうやり方で3万

2,000の安全・安心、守れますか、あなた方。あなた方と言わず、我々議会も責任あるんですが。ですから、そういうものをきちっとシミュレーションをもって最悪の状態でも、想定外でも、こう対応するんだというものを冠たるものを我々に示す、市民に示す、これを早急に私はやるべきだ。でないと、やっぱり市民を守る潟上の体制と声高に言えないんじゃないですか。そこら辺、その部署、部署では、部長が必死に今、何ていうか場当たりの答弁に終始していますし、何言ってるかわからない答弁も多々あったんですが、やっぱりガバナンス、統治者である市長がどういう、こういう災害を受けて決意と将来展望をお持ちなのか、この際きちっとお示ししていただきたい。そして、次にこういう場が発生したときは、今よりはもっと前さ進んだ形で、質疑なり対応できるように、迅速に、そのことのためにもお示ししていただきたいと思います。これが一つ。

もう一つは、今回はたまたま専決処分と、今、昭和の保育所前のうんぬんかんぬんでやってますけども、潟上市全体見れば、まだまだあの大雨によって様々な被害受けてますよ。何でここ2か所なのか。もっと広く網羅して、きちっとチェックするだけの当局の体制が整っているのかどうか。整ってないんじゃないの、これ、はっきり言えば。まだまだありますよ。舗装割れた程度のところだったり、いっぱいありますよ。ですから、そこを場当たりの政策に終始するような感いなめない。ですから、今後どういう対応を考えているのか。

1つ目は市長の見解を聞きたいし、2つ目は、それを受けてどういう対応をしていくのかという、一步進めた、前の答弁をいただければと思いますが、この2点についてどうですか。

○議長（小林 悟） 鈴木市長。

○市長（鈴木雄大） 堀井議員の1点目のご質問にお答えいたします。

ご指摘のとおり市内のインフラ関係につきましては、現在、老朽化している施設等ございます。抜本的に全てを見直しするということにつきましては、現状の予算規模では到底対応しきれないことは議員の皆様もご承知のことだと思っておりますけれども、そうした中において、随時やはり社会資本整備というのはしっかりと予算を確保しながら進めていかなければいけないと。そういう形においては、就任以降、公共事業予算につきましても毎年増額という形で、そういった老朽化に対する対応もさせていただいております。

ご指摘のとおり、今回予算に挙げていない中でも、各町内等の集会所等で雨漏り等も

発生しております。そうしたものについては、既存の予算の中で対応をさせていただいております。

また、やはりこうした災害、いつ何時起こるかわからないわけでありまして、その際にやはり市民の生命と財産を守るためには迅速な対応が必要であります。このため、災害が落ち着いたあとにおきましては、庁内において今回の災害対応等の課題、問題点について洗い出しを行う検証会議というのも設けさせていただきました。その検証会議の中で、しっかりとまた災害マニュアル等の見直しも行っていく予定であります。

また、全体の町内の地区ではありませんけれども、確かに被害の少なかった天王の追分地区等においても若干浸水、道路の冠水被害等はございました。幸いにも排水ポンプ等の対応によりまして冠水自体はすぐに引いておりますが、非常に追分地区については住宅地も増えてきております。場合によっては秋田市のような都市型の浸水、内水氾濫とはいいませんけど浸水被害等も出る予定がありますので、今年度予算において雨水対策についての調査費を挙げさせていただいております。この調査を踏まえて、しっかりとそういった水害地域につきましては対応する予算も計上していきたいと思っております。

また、今回浸水した地区におきましては、市としては初めて国交省、河川国道事務所より大規模なポンプ機械のリースというものも行った上で排水処理を行いました。そうしたことによりまして非常に床上浸水等を抑えられると、そういった事象もありませんので、なかなか全てが全て市の予算で対応できない部分については、こうした形で国や県との連携も図りながら、今後、潟上市の災害対策、市民の安全・安心の確保に向けて、しっかりと市政を進めていきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（小林 悟） 7番堀井克見議員。

○7番（堀井克見） 今、鈴木市長から現状を踏まえながら将来展望というか、お話ありました。今、市長おっしゃるとおり、財源も限りありますし、一朝一夕に全てやると。言葉は、抜本的というのは簡単ですが、そうは簡単にできないと。しかしながら、でき得る限り対処していきますよという決意だと思えます。

私やっぱりそのとおりで、さらにこういう災害時を踏まえて、気を引き締めて対応に当たって欲しいと思えます。特に当局、市長も含めて常におっしゃっておりますけれども、追分とか出戸とかというのは、やっぱり人口が、県内減っている中で増えておる、

金城湯池というか宝の地域です。ですから、ああいうところの水害対策というものをしっかりやらないと、潟上市追分、出戸のやっぱりイメージもダウンしちゃうし、そこらはお金はかかると言いつつも、水路に対してポンプでポンプアップするとか、今までやってきたんですが、一回りグレードアップをして、そして対応をしていくということ、私は早急に手をつけてほしいなと思っています。

予測つかないのが災害ですけれども、ただ、やっぱり備えあれば憂いなしということでもありますので、今回を契機として、潟上市に來ないという保障なんか全くないわけですから、まず少なくとも計画といいたしめようか、対応策というものを今までよりも一歩も二歩も進んだ形で作り上げ、そして私どもにわかるような形で、市民も含めてご提示をいただきますように心からお願いいたしたいと思いますが、そこらお約束いただけますか。今一度お願いいたします。

○議長（小林 悟） 鈴木市長。

○市長（鈴木雄大） ただいまのご指摘につきましては、若干重なる答弁もございましてけれども、常に災害発生した際においては、庁内において検証を行うと。いかんせん、これまでの市としては、対応のみで、その後の検証というのを行ってまいりませんでしたので、こうした検証を重ねながら市の防災マニュアルについても常にブラッシュアップ、ブラッシュアップしていく形で今後も進めさせていただきたいと思っております。

○議長（小林 悟） 7番堀井克見議員。

○7番（堀井克見） 市長の非常に前向きな答弁はよしとするわけですが、今までは対応はしたけれども検証はしなかったということを今明言されましたけれども、何十年も市役所職員として、あるいはまた職員として勤めた、総務部長以下いるわけですが、今までそうすれば、発生したものに対して受動的に対応したというだけであって、検証とってそういうことやらなかったということは本当なんですか。まさにせば場当たりで、その場その場でなあなあというふうなことを繰り返してきたと。今後はそれを改めて、私が市長になったからやりますよと、こういう受け止め方でいいんですか。どうなんですか、総務部長。これはあなたが答えねばね、それは。

○議長（小林 悟） 千葉総務部長。

○総務部長（千葉秀樹） ただいまのご質問にお答えいたします。

先ほど市長が答弁したのは、全庁的な検証というのは今回初めて行いました。これまでは、それぞれの担当部局で検証はしていたことは確かなんですけれども、それを情報

として取りまとめたり、そういった部分が欠けていたということがありましたので、今回の場合は、それぞれの部署で災害対応いたしましたので、そういったところでどうということが反省点だったのか、どういうところが改善できたのか、そういうのを出し合っ
て、それを改めてマニュアルに落とし込んで、それをまた新たな災害に対応していきま
しょうということで今回初めて全庁的な検証会議を開催したということでございます。
これまで検証はしていなかったということではないんですけども、それぞれの部局でし
か検証していない、それが情報として上がっていなかったということがございましたの
で、今回初めて全庁的に把握をし、全職員でその災害対応に進んでいくということで、
その検証会議というものを開催をいたしましたので、今後こういった災害のときに、ま
た改めて同じようなことが起こらないような対応をしてまいりたいと考えております。

○議長（小林 悟） ほかに質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小林 悟） 質疑なしと認め、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（小林 悟） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

これから議案第48号を採決します。本案は原案のとおり可決することに賛成の方は起
立願います。

（賛成者起立）

○議長（小林 悟） 起立全員です。したがって、議案第48号は原案のとおり可決されま
した。

以上で本日の日程は全部終了しました。

これをもちまして、令和5年第2回潟上市議会臨時会を閉会します。

どうもご苦労様でございました。

午前11時09分 閉会

署 名

上記会議の次第を記載し、これに相違ないことを証明するためここに署名する。

潟上市議会議長 小 林 悟

〃 署名議員 堀 井 克 見

〃 署名議員 藤 原 典 男